

# 財政健全化判断比率など

市では、毎年度、財政指標を算定しています。平成28年度の決算に基づく健全化判断比率、資金不足比率は次のとおりで、早期健全化基準を下回っています。

	健全化判断比率 (単位：%)			
	実質赤字	連結実質赤字	実質公債費	将来負担
平成28年度	— (13.10)	— (18.10)	7.6 (25.0)	82.9 (350.0)
平成27年度	— (13.12)	— (18.12)	8.0 (25.0)	57.8 (350.0)

※「—」は赤字額がないことを表しています。

※下段（ ）書きは、早期健全化基準

## ■資金不足比率

資金不足の会計（水道事業会計・公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計）はありません。

**早期健全化基準**…財政収支が不均衡な状況や財政状況が悪化した状況において、その財政の健全化を図るべき基準。4つの指標のうち1つでも基準以上になると「早期健全化団体」に指定されます。

**実質赤字比率**…地方公共団体の一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの。

**連結実質赤字比率**…すべての会計の赤字や黒字を合算し、赤字の程度を指標化。全体としての財政運営の深刻度を示すもの。

**実質公債費比率**…借入金（地方債）の返済額などの大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。

**将来負担比率**…借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの残高の程度を指標化。将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの。

## 市債の状況（現在高）

会計名	平成27年度末	平成28年度末
一般会計	215億1,357万円	233億2,033万円
水道事業	12億8,080万円	17億6,280万円
公共下水道事業	47億2,607万円	44億3,119万円
農業集落排水事業	22億4,932万円	21億9,522万円
一部事務組合分	84億4,952万円	81億3,653万円
合計	382億1,928万円	398億4,607万円

## 市の家計簿チェック

つくばみらい市の平成28年度一般会計決算を、年間600万円（月50万円）の生活をしている家庭に例えて、1カ月分の家計簿を作ってみました。

[家族構成] 父・母・みらい君（中学生）・兄（大学生、アパートで1人暮らし）

25万1000円  
家族で稼いだお金など

### 毎月の収入

お父さんの給料（市税）	177,000円
お母さんのパート収入 （使用料・手数料など）	33,500円
貯金引き出し（繰入金）	40,500円
実家からの援助 （地方交付税・国庫支出金など）	175,000円
ローン借り入れ（市債）	74,000円
収入合計	500,000円

※わかりやすくするために1カ月分で作成しましたが、一般会計と対比するためには、年間収支での比較となります。

### 毎月の支出

食費（人件費）	66,473円
医療費（扶助費）	62,674円
光熱費・洋服代（物件費）	81,192円
車や家具の修理代（維持補修費）	3,324円
兄への仕送り （他会計への繰入金・補助費・貸付金など）	112,054円
家の増改築（投資的経費）	106,832円
ローン返済（公債費）	36,560円
貯金（積立金）	5,698円
支出合計	474,807円

生活費32万5717円

◎翌月への繰越（収入・支出の差引） 25,193円

## 【市民1人の歳出額】

1人あたり 40万1,984円

平成28年度の一般会計歳出額を平成29年3月末現在の人口5万1,122人で割ったおおよその金額です。

農林水産業費  
13,219円



農業振興などの費用

衛生費  
20,804円



健康診断、ごみ処理、放射能対策などの費用

民生費  
115,096円



福祉、子育て支援などの費用

総務費  
48,435円



市役所管理などの費用

その他  
11,092円



議会運営、商工振興などの費用

公債費  
30,401円



借入金（市債）の返済金

教育費  
98,595円



学校、公民館、図書館などの費用

消防費  
17,122円



消防、防災などの費用

土木費  
47,220円



道路、公園、都市計画などの費用